

水稻雑草(コナギ)抑制対応技術

一般社団法人北陸EM普及協会

水稻雑草の代表的なコナギ。

EMとコナギの発芽には関係性があることがわかり、平成26年より(株)EM研究所とコナギ抑制対応技術の開発に取り組んでまいりました。

(株)EM研究所では・・

- * コナギの発芽を促進させるEMの製造と使用時期の確定
- * 秋処理用EMの開発



トロトロ層の発達で雑草が抑制されている収穫前の水田

現場では・・

(公財)自然農法国際研究開発センターの今日までの蓄積した水稻雑草に関する研究と、現在公表されているコナギに対する文献を基に、農家の協力を得ながら試験を積みあげてきました。



コナギが抑制出来ているほ場の特徴

- * 地表面に有機物が無い
- * トロ土層が5cm前後形成されている

《効果の確認》

毎年、北陸4県と滋賀県で実施農家を中心に検討会を重ね、効果の検証をおこなってきました。

効果を上げているほ場の特徴

- * 秋処理の実施により有機物の分解を促進
- * 春の植代掻き以前の有機物の未投入
- * コナギ抑制対策用EMの適期の施用
- * 深水・浅植代掻きの実施
- * 田植え後の有機物投入等によるトロ土層の形成

《EM研究所実証ほ場での確認》

平成30年 除草作業時間 0時間



(株)EM研究所の技術提携農家の福井県勝山市の南 都志男さんのほ場は、8枚(1町3反)です。今年は、(株)EM研究所の提案にできるだけ沿った作業を行った結果、一度も除草に入ることなく栽培する事ができました。

約20 aの実証ほ場での耕種概要

平成29年

- 10月11日 稲刈り
- 10月18日 有機資材散布
- 10月30日 耕起
(苗代に使用するほ場のため秋処理用EMを流し込みながら入水して代掻き)
- 冬期湛水(雪が降るまで)

平成30年

- 4月4日 代かき
(入水時にコナギ対策用EM流し込み)
- 5月31日 植代かき(深水・浅代掻き)
- 6月4日 田植え
- 6月8日 有機資材散布
- 7月4日 溝きり
- 9月18日 稲刈り